



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月29日

上場会社名 京都きもの友禅株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7615 URL <https://www.kyotokimonoyuzen.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 雅親  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 白岩 正樹 (TEL) 03-3639-9191  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月8日 配当支払開始予定日 平成30年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	4,855	△11.8	△301	—	△229	—	△260	—
30年3月期第2四半期	5,506	△19.9	127	△80.2	177	△74.9	105	△77.7

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △265百万円(—%) 30年3月期第2四半期 101百万円(△78.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△21.80	—
30年3月期第2四半期	8.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	13,979	6,617	47.3	554.10
30年3月期	14,279	7,026	49.2	588.32

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 6,617百万円 30年3月期 7,026百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
31年3月期	—	12.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,305	7.2	0	—	64	△58.0	41	7.4	3.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	15,498,200株	30年3月期	15,498,200株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	3,555,764株	30年3月期	3,555,664株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	11,942,508株	30年3月期2Q	11,942,636株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(セグメント情報) .....	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等、緩やかな回復基調で推移しておりますが、個人消費については伸び悩んでおり、また猛暑や自然災害の発生など、先行きは予測し難い状況で推移いたしました。

このようななか、当社グループでは商品構成や広告施策を見直すとともに、新形態の催事を実施するなど、積極的な営業活動を実施してまいりました。当社グループにおける各事業部門別の状況は次のとおりであります。

## 〔和装関連事業〕

「振袖」販売およびレンタルについては、来店者数の回復に向けて広告プロモーションの強化を図ったものの、来店者数は前年同期並みに留まり、成約率・平均単価についても低下したため、受注高としては前年同期比 11.1%減となりました。また、既存顧客を対象とした「一般呉服」等の受注高については、前年同期比 0.8%減となりました。

以上により、和装関連事業の受注高は、前年同期比 4.9%減の 4,740 百万円となりました。また売上高（出荷高）については、11.6%減の 4,655 百万円となりました。

利益面においては、粗利益率は前年同期と比べ 0.8 ポイント低下し 62.7%となりました。販売費及び一般管理費については、前期末で3店舗を閉店したこともあり人件費が減少したものの、前述のとおり売上高が減少したことにより、対売上高比では 8.0 ポイント上昇いたしました。この結果、和装関連事業の営業損失は 444 百万円（前年同期は営業損失 42 百万円）となりました。

## 〔金融サービス事業〕

金融サービス事業については、売上高は前年同期比 15.6%減の 200 百万円、営業利益は 15.9%減の 144 百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は前年同期比11.8%減の4,855百万円、営業損失301百万円（前年同期は営業利益127百万円）、経常損失は229百万円（同 経常利益177百万）、親会社株主に帰属する四半期純損失は260百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純利益105百万）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%減少し、9,668百万円となりました。これは、現金及び預金が45百万円、割賦売掛金が418百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し、4,310百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、13,979百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、7,115百万円となりました。これは、買掛金が108百万円、販売促進引当金が71百万円それぞれ増加し、預り金が74百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し、246百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、7,361百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.8%減少し、6,617百万円となりました。これは、利益剰余金が403百万円減少したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成30年4月27日に発表した業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,548,181	3,503,124
売掛金	9,676	24,023
割賦売掛金	4,237,921	3,819,161
商品及び製品	1,498,714	1,534,045
原材料及び貯蔵品	15,650	13,170
その他	712,935	774,813
流動資産合計	10,023,080	9,668,338
固定資産		
有形固定資産		
土地	518,407	518,407
その他(純額)	342,831	395,172
有形固定資産合計	861,238	913,579
無形固定資産		
35,752	35,752	42,845
投資その他の資産		
投資有価証券	354,267	347,096
差入保証金	2,052,850	2,052,850
敷金及び保証金	740,635	745,015
その他	211,998	209,566
投資その他の資産合計	3,359,751	3,354,528
固定資産合計	4,256,742	4,310,953
資産合計	14,279,822	13,979,292

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	176,194	284,271
未払法人税等	—	50,737
前受金	1,626,530	1,620,503
預り金	3,699,677	3,625,460
賞与引当金	205,090	202,000
販売促進引当金	87,520	159,270
割賦未実現利益	618,659	571,414
資産除去債務	17,688	5,318
その他	584,298	596,636
流動負債合計	7,015,657	7,115,612
固定負債		
長期未払金	6,540	—
資産除去債務	231,593	246,320
固定負債合計	238,133	246,320
負債合計	7,253,790	7,361,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,215,949	1,215,949
資本剰余金	1,708,256	1,708,256
利益剰余金	7,421,365	7,017,723
自己株式	△3,335,638	△3,335,694
株主資本合計	7,009,932	6,606,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,099	11,124
その他の包括利益累計額合計	16,099	11,124
純資産合計	7,026,032	6,617,359
負債純資産合計	14,279,822	13,979,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	5,506,017	4,855,981
売上原価	1,996,388	1,799,084
売上総利益	3,509,628	3,056,896
販売費及び一般管理費	3,382,305	3,358,594
営業利益又は営業損失(△)	127,323	△301,697
営業外収益		
受取利息	267	250
受取配当金	1,787	1,545
信販取次手数料	40,182	43,967
違約金収入	—	8,500
雑収入	9,404	20,015
営業外収益合計	51,642	74,279
営業外費用		
支払利息	—	905
雑損失	1,284	1,294
営業外費用合計	1,284	2,199
経常利益又は経常損失(△)	177,680	△229,617
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	177,680	△229,617
法人税、住民税及び事業税	96,669	26,084
法人税等調整額	△24,156	4,628
法人税等合計	72,512	30,712
四半期純利益又は四半期純損失(△)	105,168	△260,330
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	105,168	△260,330

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	105,168	△260,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,184	△4,975
その他の包括利益合計	△3,184	△4,975
四半期包括利益	101,983	△265,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,983	△265,306
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	177,680	△229,617
減価償却費	33,278	32,020
賞与引当金の増減額（△は減少）	30,730	△3,090
販売促進引当金の増減額（△は減少）	86,250	71,750
受取利息及び受取配当金	△2,054	△1,795
支払利息	—	905
有形固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額（△は増加）	30,339	405,248
たな卸資産の増減額（△は増加）	104,020	△32,850
仕入債務の増減額（△は減少）	138,125	108,077
割賦未実現利益の増減額（△は減少）	△35,670	△47,245
未払消費税等の増減額（△は減少）	△29,253	15,356
預り金の増減額（△は減少）	△56,582	△74,217
その他	△87,952	△154,367
小計	388,912	90,173
利息及び配当金の受取額	2,428	1,795
利息の支払額	—	△905
法人税等の支払額	△182,455	△22,837
法人税等の還付額	—	80,401
営業活動によるキャッシュ・フロー	208,884	148,627
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	1,000,000	—
有形固定資産の取得による支出	△10,304	△18,068
差入保証金の差入による支出	△1,000,000	—
敷金の差入による支出	△156	△31,502
敷金の回収による収入	458	27,122
貸付けによる支出	△2,200	△350
貸付金の回収による収入	1,002	720
その他	—	△28,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,199	△50,336
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△55
配当金の支払額	△357,637	△143,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△357,637	△143,348
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△159,951	△45,056
現金及び現金同等物の期首残高	4,094,876	3,548,181
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,934,924	3,503,124

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

前第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装関連事業	金融サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,269,097	236,919	5,506,017	—	5,506,017
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,079	10,079	△10,079	—
計	5,269,097	246,998	5,516,096	△10,079	5,506,017
セグメント利益 又は損失 (△)	△42,012	172,305	130,292	△2,968	127,323

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装関連事業	金融サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,655,937	200,044	4,855,981	—	4,855,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9,541	9,541	△9,541	—
計	4,655,937	209,585	4,865,522	△9,541	4,855,981
セグメント利益 又は損失 (△)	△444,709	144,935	△299,774	△1,922	△301,697

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。